

2019 年度 都立府中東高校 BOXING部

●2019. 9. 21 駿台学園高校合同練習会



東京都の強豪、駿台学園高校で実施される合同練習会にお誘いいただき、参加させていただきました。

駿台学園以外には同じ関東の強豪校、全国で活躍する千葉県習志野高校が参加し、本校を含め3校での合同練習会となりました。

練習はシャドーボクシングから始まり、3校で各2分2Rのスパーリング。各スパーリングの後は3校で6Rのマスボクシングを実施しました。



同じ東京都とはいえ全国で活躍する駿台学園高校。子どもたちの緊張感も高まります。さらに千葉県の習志野高校と言えば国際大会でメダルを獲得する選手やプロアマ問わず多くのチャンピオンを輩出している名門校。今まで練習してきた内容が少しでも通用するのか、とても良い機会をいただきました。

本校の今回の参加は2年の芦川、萩原、山中、吉野、1年の末舛、堀江の男子6名。全員がスパーを実施しました。

まずは萩原。習志野高校の選手を相手に良いスパーをしました。リズムやステップイン、距離など練習してきた内容も随所に見られました。また普段手を合わせない相手。パンチをもらう場面や距離を詰められる場面が見られたことは新たな課題となります。練習してきたことを出し、新たな課題も見つかるとてもいいスパーでした。堀江は小刻みなリズム、頭を振るのはとよいところの一つですが、前日に体調を崩していたのが響いたのか、2Rには動きに精彩を欠いた印象です。しかし以前に比べるとオフェンスに対する意識は高くなっています。末舛は習志野高校の

萩原



選手相手に攻められるところと攻めるところがはっきり分かれました。山梨遠征よりも相手を追い詰めるシーンもあったのでオフェンスへの意識は良いところです。吉野も同様です。山梨ではオフェンスに課題がありましたが、今回は相手からカウントを取るところもありました。オフェンスへの意識は高くなりましたが、パンチが単発で大きい。それは山中も同様。前の手が相手を捉えるところが見られましたが、単発でパンチが大きい。芦川は元々前の手が良く、ポイントを取れる打ち方をしていましたが、それがよくわかる内容でした。ただ、まとめて攻めるシーンがもう少しほしいところでした。



堀江



吉野



芦川



末舛



山中



各自、普段の練習や山梨遠征の成果を発揮でき、課題が見られたスパーでもありました。しかし全員が共通する課題オフェンスに関しては良いところが見られました。駿台学園高校顧問、関口先生からも「良く練習しているのがわかる内容だった」と言葉をいただきました。部員の日々の努力が他校の先生にも伝わる内容だったということです。この後もさらに強くなるために練習に取り組みます。応援してください。

駿台学園、習志野高校のみなさん、ありがとうございました！